



グループ通信

発行/ふれディアグループ本部 編集部
〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-3-4
朝霞台駅前ビル8F

全国相談窓口 ☎0120-116-017 



こんにちは、ふれディア通信編集部です。 残暑もようやく過ぎて、心地よく過ごせる季節になりました。 あちこちで文化行事が開催されるこの時期、絵や書や音楽、皆さんは鑑賞派でしょうか、それとも自分でチャレンジ派でしょうか。 メインは鑑賞派だけど、自分でもちょっとやってみたい、という方もいらっしゃるかもしれませんね。 習い事教室に行ってみるのもいいけれど、もっと気軽に始められることを探している方は、ここ数年、静かなブームになっている「文房具のコレクション」はいかがでしょうか。 文房具と言っても色々ありますが、コレクションと言ったら、まずは万年筆をはじめとする筆記具がメインかと思います。 万年筆は「持っていたらカッコイイ、憧れの高級アイテム」というイメージがありますよね。 ただ、今はお小遣いで気軽に買えるような価格帯の、カジュアルな商品もたくさん出回っています。 まずは万年筆というアイテムの、ボールペンとは違う書き味を試してみるのもいいですね。 万年筆に慣れてくると、次に凝りたくなるのがインク。 昔は万年筆のインクと言えば群青か黒の二択だったように思いますが、今は水色や黄色など、様々な色のインクが販売されています。 カラーインクの魅力は、発色の美しさ、容器のデザイン性の高さ（まるで香水瓶のようなデザインのものも!）、こだわりのネーミングでしょうか。 その魅力の奥深さは“インク沼”という言葉もあるくらいで、ハマったらなかなか出られなくなるもののようです。 全国各地の文具屋さんをご当地をモチーフとして作った、“ご当地インク”というものもあります。 札幌の文具さんが作った「四季」というインクシリーズが始まりで、これは北海道の四季を4色で表現していて、春は「クローバー」、夏は「ラベンダー」、秋は「もみじ」、冬は「みかん」。 旅先で見つけたらつい全色欲しくなってしまうような、素敵なネーミングですよ。 “ご当地インク”の中には、食べ物や飲み物、歴史上の人物、文学作品の名前を持つ商品もありますよ。 オンラインショップで入手可能なものもたくさんありますので、色々探してみるのも楽しそうです。 こだわりのインクを使って、ペン習字やイラストなど、新しい趣味に挑戦するのもいいですね! では、今月も健やかに過ごしましょう。

ふれディア通信編集部

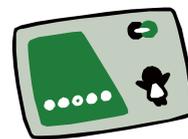


平成の重大ニュースプレイバック!



平成13年(2001年)には何があった!?

JR東日本がICカード乗車券「^{スイカ}Suica」のサービスを開始したのがこの年でした。 また、^{こいずみ}小泉内閣が発足して小泉総理大臣が発する巧みな話術に心をつかまれた国民も多かったはず。「米百俵」「聖域なき改革」「骨太の方針」など、



次から次へと生まれた“小泉語録”は新語・流行語大賞を軒並み受賞しました。 そして、小泉内閣発足とともに入閣した^{しおかわまさじゆうろう}塩川正十郎財務大臣は、「^{しおじい}塩爺」の愛称で親しまれ“癒し系大臣”として注目を集めました。 また、^{こうたいしひ}皇太子妃雅子様がご出産され、国民全体が祝福ムードにもなりました。 この時お生まれになった^{あいこ}愛子様が、今年大学をご卒業し就職されましたので時の流れを感じてしまいますね。



その他のニュース

アメリカ同時多発テロ事件「9.11」が発生/邦画1位「千と千尋の神隠し」/「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」「東京ディズニーシー」が開業/新語・流行語「狂牛病」「明日があるさ」